

個別事業(取組)評価				
事業No.	2	施策の柱への位置付け	柱① 学校・学級改革	
事業名称	学校改善プラン実践支援事業		担当課	小中学校課
			当初予算額(千円)	17,669
			補正後予算額(千円)	13,802
			決算額(千円)	13,413

		当初計画	年度末点検・評価
①	現状(課題)とその要因	<p>【現状】</p> <p>全国学力・学習状況調査の結果から、高知県の学力の状況は、小学生は全国水準とほぼ同じ状況にあるが、中学生は全国水準を大きく下回っており、小学校と中学校の学力の定着状況に格差があり、中学校での学力の落ち込みの改善が緊急の課題である。</p> <p>※H21全国学力・学習状況調査 全国の平均正答率との比較 小学校 国語A -1.4p 国語B -1.0p 算数A -2.3p 算数B -2.0p 中学校 国語A -2.8p 国語B -4.7p 数学A -6.2p 数学B -7.2p</p> <p>【要因】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 学校における組織的な学力向上の取組に課題 ◆ 教科の枠をこえた中学校授業力向上に課題 ◆ 国語、算数・数学における指導方法に課題 ◆ 学習意欲の向上と学習習慣の定着のための学習環境に課題 ◆ 小学校における学力の二極化への対応や、小中学校が連携した学力向上対策に課題 	<p>ア 正確に把握していたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>)</p> <p>平成19～21年度の全国学力・学習状況調査の結果に基づき把握した現状は、平成22年度の全国学力・学習状況調査においてもほぼ同様であった。</p> <p>※H22全国学力・学習状況調査 全国の平均正答率との比較 小学校 国語A -0.5p 国語B 0.3p 算数A 1.1p 算数B -1.1p 中学校 国語A -2.5p 国語B -4.3p 数学A -5.1p 数学B -6.7p</p> <p>イ 十分に特定していたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>)</p> <p>平成21年度に各学校が作成した「学校改善プラン」、「検証シート」の記述内容や学校支援訪問時の聞き取りにより課題を把握した。</p>
		②	目標(Outcome)
③	実施内容(Input・Output)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 学校支援訪問 ・ 中学校重点支援校50校に、年間8回以上を目安に、「中学校学力向上推進チーム」が訪問し、「学校改善プラン」に基づくPDCAサイクルが機能するよう支援する。 ◆ 全国学力・学習状況調査結果の分析及び改善策の周知 ・ 全国学力・学習状況調査結果報告書等を作成・配付する。 ・ 調査結果の活用に関する研修会の実施と各学校が自校の教科の課題を改善するための計画を作成する。 	<p>オ 計画通り実施されたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 学校支援訪問は、重点支援校50校(平成21年…46校)に対し年間511回(平成21年…448回)の訪問を実施し、「学力向上のための組織的な校内研修体制づくり」「子どもにわかる授業づくり」「学校全体で予習・復習(宿題)の質と量を高める取組」等について支援を行った。 ◆ 全国学力・学習状況調査の分析結果、改善策を速やかに公表するため、様々な方法(ホームページ、メールマガジン、研修会、報告書等)を活用して発信した。 ◆ 各学校が調査結果の分析及び改善策を持ち寄って協議する研修会を実施した。
総合評価と今後の方向		<p>目標達成度 C 「No」を選択した項目 ウ、エ</p> <p>【総合評価】</p> <p>年度当初に設定した目標値には達することができなかったが、学校改善プランに数値目標や検証方法が明記されている学校が増えてきており、学校改善プランの質の向上が図られ、学力向上のPDCAサイクルが確立されつつある。 特に、重点支援校においては、アンケート結果から、取組の成果について肯定的な評価は80%以上である。</p>	<p>【今後の方向】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 学校改善プランは学力向上対策の中核を成すものであり、「学力を全国水準にまで引き上げる」という目標達成のために、また、小学校、中学校における学力の定着の格差を改善するために、今後も以下の点について重点的に支援していく。 ①学力向上に向けた学校の組織的な取組の強化 ②中学校における教科の枠を超えた授業力の向上 ③国語、算数・数学における指導方法の工夫・改善 ④学習意欲の向上と学習習慣の定着のための学習環境の整備 ⑤小学校における学力の二極化への対応や、小中連携を意識した学力向上対策 ◆ 重点支援校以外の中学校にも支援訪問を行い、学力向上の取り組みを支援していく。